

# 報告

## 関東支部会の開催報告

亀谷和久（国立天文台）

### 1. はじめに

2016年7月3日(日)に国立天文台において天文教育普及研究会関東支部会が開催された。今回の関東支部会のメインテーマは、8月の年会のテーマ「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる」にもリンクすることを意識して、「天文・宇宙をみんなで楽しむ活動大集合!」とした。星や宇宙を扱う活動は多岐にわたるが、今回はその中でもアクセサリや雑貨などのグッズ製作や、アート・演劇・音楽といった異分野とのコラボレーションによる活動事例を共有し、新たな活動へのきっかけを作ることを目的とした。全体で108名の参加者があり(図1)、大変盛会となった。参加者の約6割は非会員であり、発表も非会員によるものが多かった。本稿では、このプログラムおよび発表の概要を報告する。

### 2. プログラム

発表はメインテーマに関連する基調講演1件、一般テーマ発表9件があり、この他に展

示・実演が2件あった。最後には年会テーマに関する議論の時間も設けられた。プログラムは以下の通りである(敬称略)。

#### 【基調講演】

- ・ ”星”とのコラボ、人気です!  
都築泰久（株式会社ビクセン）

#### 【一般テーマ講演】

- ・ アイドルマスターシンデレラガールズとのコラボについて  
友田哲（日本天文愛好者連絡会）
- ・ 「学び×体験×交流」合宿 星空案内人スキルアップ講座 開催報告  
瓜生こずえ（天プラ）
- ・ 「生命の起源かるた」を用いたイベント報告  
新井真由美（生命の起源かるた制作チーム）
- ・ 「月の地下どうくつ探検かるた」を用いたイベントの報告  
新井真由美（月の地下どうくつ探検かるた制作チーム）



図1 集合写真

- ・ ウチュウ+ドラマの楽しい世界  
小林善紹（雑貨団）
- ・ 宇宙カルチャーを世界へ  
新井総（宇宙食堂）
- ・ 「宇宙開発」をより身近にするために  
小泉夢月（リーマンサットプロジェクト）
- ・ かわさきプラネタリウム同好会の活動  
由良文隆（かわさきプラネタリウム同好会）
- ・ 国際会議 CAP2016 参加報告～コロンビア・メデジン～に行ってきました  
矢治健太郎（国立天文台）



図2 基調講演を行なう都築氏

### 【ディスカッション】

- ・ 年会テーマ「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる」について  
進行：縣秀彦（国立天文台）

### 【展示・実演】

- ・ 生命の起源かるた  
生命の起源かるた制作チーム
- ・ どこでもボール  
山田稔（Penny Arcade）

## 3. 発表内容の概要

### 3.1 基調講演

都築氏による基調講演(図2)では、株式会社ビクセンによる星空を楽しむための各所とのコラボレーションについてご紹介いただいた。同社では数十年前から星まつり会場や近隣の小学校での星空観望会を実施してきたが、2007年頃から異業種とのコラボレーションを本格的に開始した。宣伝ではなく広報が活きる現代において、初めての人に天体望遠鏡をPRするために、「より多くの初心者に、星空の魅力を伝えたい」をコンセプトに始めたとのこと。コラボレーションの相手は、話題になるか、商売になるか、斬新かといった観点で選び、官公庁やメディアからスポーツ、街コンまで多岐に及ぶ。同社が提唱した「宙

ガール」関連のものも多い。そして今後の活動のテーマは「スターパーティ」とし、自分達で集い、自分達で楽しむことを通して、星空を楽しむことが文化となる環境を醸成したいとのことであった。

### 3.1 一般テーマ発表

一般テーマ発表の概要は以下の通りである。友田氏の発表では、ソーシャルゲーム「アイドルマスターシンデレラガールズ」とのコラボとして、ゲームのキャラクターをイベントのイメージガールとしたことなどが紹介された。瓜生氏の発表では、主に関東の星空案内人を対象に合宿形式で開催されたスキルアップ講座の実施報告があった。新井真由美氏の発表2件では、「生命の起源かるた」および「月の地下どうくつ探検かるた」の制作の目的と制作の実際、かるた大会の実施とそこで行なわれたアンケート調査の結果等が報告された。小林氏の発表では、雑貨団の活動として、「ウチュウ+ドラマ」をキーワードに全国のプラネタリウムをツアーして演劇を行なう「シアトリカル・プラネタリウム」と、「こどもミュージカルワークショップ」の活動を紹介された。新井総氏からは宇宙モノ専門の演

劇ユニット「宇宙食堂」の活動をご報告いただいた。劇場公演やプラネタリウム演劇のほかに、「文化に科学を」をコンセプトに宇宙アクセサリー、宇宙ファッション、宇宙イベント等の活動が紹介された。小泉氏の発表では、「リーマンサットプロジェクト」としてサラリーマンが人工衛星を作る活動のほか、クレイアニメや手紙を題材にしたワークショップの様子も紹介された。由良氏の発表では、昨年夏に発足した「かわさきプラネタリウム同好会」において、会員が各自の得意分野を活かしてボランティア活動を行なっていることが紹介された。矢治氏の発表では、コロンビアのメデジン市で開催された国際会議CAP2016への参加報告が行なわれた。矢治氏から会議の概要が紹介されたほか、この国際会議に参加した他の複数の方からも発表内容や感想が報告された。

### 3.2 ディスカッションと展示・実演

最後に、年会テーマ「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる」についての議論が行なわれた。バラエティに富んだ発表を受けて、発表者以外の参加者の経験も踏まえた様々な意見が述べられ、活発な議論となった。

また、休憩時間には「生命の起源かるた」

と「どこでもボール」の展示・実演が行なわれた。かるた大会(図3)の参加者達は童心に返って楽しみながら、かるたの内容等について議論が自然に起こっていた。「どこでもボール」にも多くの参加者が興味を示し、その活用方法などについて活発な質問・議論が行なわれていた。

### 3.3 おわりに

今回の関東支部会は、「はじめに」でも述べたように、初参加者を含む非会員による発表および参加が多いことが特徴であった。これまでの本会の活動で拾いきれていなかった活動についても知る契機となったのではないだろうか。閉会后、会場近くで懇親会が開催され、活発な議論と情報交換が行なわれた。今回の支部会で得た気付きや出会いをもとに、より幅広い層の人々と繋がり、一緒に宇宙に親しむ環境を作り出す多彩な活動へ発展していくことを期待したい。

最後に、本支部会に際して、準備、受付、進行等にご尽力いただきました関東支部委員の皆様および発表者・参加者の皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。



図3 白熱した「生命の起源かるた」大会